

年末は、飲酒の機会が多くなるだけでなく、心理的な疲労たしや交通量の増加から、交通事故の多発が懸念されます。

この運動は、市民一人ひとりが交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣づけ、交通事故防止の徹底を図ろうとするものです。

運動の重点

- ※飲酒運転の追放
- ※高齢者の交通事故防止
- ※運転中の携帯電話の使用禁止

☆ドライバーのみなさんへ

- ①飲酒運転の危険性・責任の重大性を十分認識し、「酒を飲んだときは車を運転しない」という強い信念を持ちましょう。
- ②高齢者の参行者・自転車利用者を確認したら、急な横断やふらつきなどの危険を予測し、ゆとりある高齢者にやさしい運転を心がけましょう。
- ③11月1日から、運転中の携帯電話の使用に対する罰則が強化されました。携帯電話の使用は、わき見状態やブレーキ操作の遅れにより、交通事故に直結することを認識し、「運転中には携帯電話にはさわらない」という強い信念を持ち、運転に集中しましょう。

☆家庭では

- ①酔いは思っているほど簡単にはさめません。少し寝たからといって運転を開始することのないよう、また、酒類が出る会合には車を運転して行かない・行かせない、車での来訪者には酒類を出さないなど、家族ぐるみで飲酒運転を追放しましょう。
- ②高齢者のいる家庭では、なるべく夜間の外出を控えるよう、また、やむを得ず外出する場合には、明るい服装や反射材の活用について指導しましょう。
- ③家族が運転していることが予想される場合は、なるべく電話をかけることを控えるなど、「運転中に携帯電話を使用しない」というルールについて家庭内で確認しましょう。

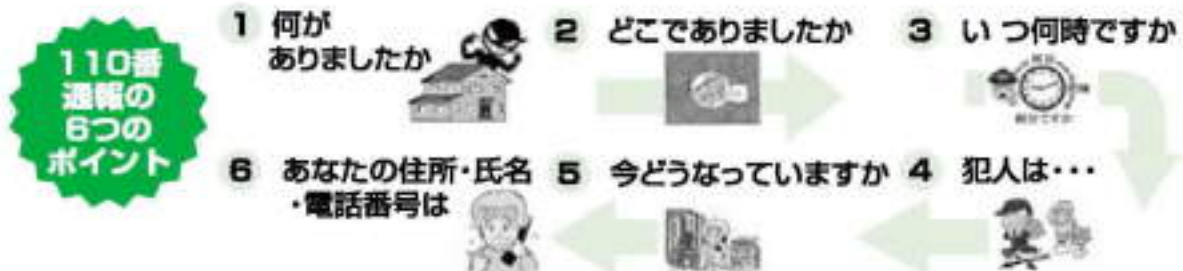


1月10日は110番の日

警察では毎年1月10日を「110番の日」とし、この日を中心に110番の正しい利用をしていただくための広報を行っています。事件・事故が発生したとき、犯人の早期検挙や被害者の救助など、迅速・的確な処理が必要となります。こうしたときは110番通報を積極的に利用してください。

ただし、緊急性のない困りごと、相談などは「#9110番」(新潟県警察本部けいさつ相談室)へ電話されるか、最寄りの警察署の相談室にお尋ねください。

緊急時 あわてず あせらず 110番



※110番は事件・事故など、急いで警察に知らせるための緊急電話です!

いたずら電話は絶対にしないでください!

佐渡西警察署 ☎74-0110・佐渡東警察署 ☎27-0110



佐渡金銀山 未来に残そう世界遺産

金銀山よもやまばなし(3)

北沢浮遊選鉱場

北沢浮遊選鉱場は山の山の揚鉱製錬から排出される鉱尾に含まれる金を更に抽出する青化製錬を行うための浮遊選鉱施設として建設されました。施設のうち建設年代として史料に記されている最初の施設は、明治41年(1908)の火力発電所の竣工ですが、前記の製錬機能を考慮すると、青化法実現から比重選鉱法として一定の形式を整えるまでの明治23年(1890)から明治40年(1907)の間に、北沢の一連の諸施設が建設されたものと推測されます。



「佐渡金銀山事業系統団」には北沢選鉱場に青化場と浮遊選鉱場の図説が

記載されています。大正時代に撮影されたものとされる古写真には、明治41年(1908)に竣工した火力発電所のほか、この旧選鉱場の敷地に複数の建築物が確認できます。火力発電所と旧選鉱場施設の間は空地となっており、湯川沿いに2棟の建築物が確認されるのみとなっています。この空地に昭和12年(1937)3万トン処理浮遊選鉱場が完成し、昭和13年(1938)にはこれを拡張し当時東洋一と言われる7万トン処理大選鉱場を完成しました。この大選鉱場完成後の古写真には、旧選鉱場にも複数の建築物が確認され、当時は両選鉱場が稼働していたと考えられます。しかし、昭和16年(1941)の太平洋戦争にともない昭和18年(1943)北沢の大選鉱場の約半分が、設備・建屋とも供出されました。したがって、昭和13年(1938)から昭和18年(1943)までのわずか6年間で大選鉱場の役割を終えたこととなります。

現在、北沢浮遊選鉱場跡は、湯川に隣接するゴルフ練習場から相川病院の建つ尾根頂上まで続く敷設の階段状からなる鉄筋コンクリート構造躯体のみとなってあり、各段は細かく仕切られた多数の区画や円筒状の構造物(ライス)が残っています。その東側には石積み擁壁を隔てて旧北沢選鉱場跡が続いていますが、植物の繁茂が多くその全容は確認できない状況です。現存する鉄筋コンクリート躯体は、部分的に亀裂が入り鉄筋が露出して錆が発生していることに加え、植物による侵食がかなり進行し、劣化が激しい状況となっています。



▲現在の様子 屋根がなく、朽ちている

